

事務事業名	公共土木施設災害復旧事業 (R5災)		所属部	建設部	所属課	建設工務課 (災害復興T)
総合 計画 体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	災害復興G	
	施策名	〈12〉道路の整備		担当者名	錦織 健人	
	目的 対象	市民	意図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。		
	基本事業	〈035〉道路の維持管理		電話番号	0854-40-1062 (内線) 2474	
目的 対象	道路利用者	意図	安全に移動できる。			予 算 科 目
				会計	款	大 事 業 名
				0	1	5
				5	0	3
				項	目	中 事 業 名
				1	0	1
				0	1	業 名
				0	1	現 年 公 共 土 木 施 設 災 害 復 旧 事 業
				0	1	現 年 公 共 土 木 施 設 災 害 復 旧 事 業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
災害発生箇所	道路、河川の機能を復旧することによって、安全に利用することができる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R5 年度 ~ R7 年度 )	市管理道路・河川の被災箇所の復旧工事を実施する。(R5年発生分) 【災害復旧基準】 ・日雨量80mm以上、時間雨量20mm以上 ・河川の場合は雨量の他に断面積の2分の1以上の流量が必要。 ・補助対象事業費は60万円以上である。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
○災害査定申請 申請件数:14件(道路:11件、河川:3件)	日常の道路・河川点検が必要であり、職員によるパトロールを実施した。 測量設計については外部委託を行い事務の軽減を図った。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 発注率	%			93.0	100
イ 完了箇所数(全体14箇所)	箇所			0	14
ウ 完了率	%			0	100
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
【地方債】災害復旧事業債 委託費:14,040千円	国庫支出金	千円	0	0	2,935	65,112
	県支出金	千円				
	地方債	千円	0	0	10,500	31,100
	その他	千円				
	一般財源	千円	0	0	605	3,491
	事業費計	千円	0	0	14,040	99,703

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	被災した箇所の現地調査、査定申請を速やかに行い全箇所の査定決定を受けることができた。 復旧工事についてはR6年度から着手する予定である。
② 事業実施するうえでの課題	被災状況を把握する上で、迅速な被災箇所の把握と情報整理が課題。 また、令和3年災の残工事があり施工業者の負担が過大となる。
③ 課題解決に向けた改革改善等	日頃の道路・河川パトロールにより異常箇所の有無を把握するとともに、災害発生時の報告ルールや調査体制、災害情報管理システムの運用見直しを図った。 また、発注調整を行い業者の負担軽減を図った。